授業科目　装具実習 II（上肢装具実習）

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	義肢
藤枝 温子、笹本　嘉朝	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○			○	◎

【概要・一般目標：GIO】

装具 IV（上肢装具）で習得した知識を基に，製作された装具を，対象者へ正しく適合するのに必要な技術を習得する．

【学習目標・行動目標：SBO】

1．上肢装具の採寸・採型など，装具適合部位の形状獲得作業が的確に行える．
2．対象となる疾患に応じた上肢装具の設計，デザインを的確に行える．
3．様々な規制品の上肢装具および自助具を，的確に装着することができる
4．チェックアウトプロトコルに従って，装具の適合判定を的確に行える．
5．上肢装具不適合に対処できる．

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1 － 4	短対立装具実習：採寸・採型	1	教員デモと学生による実習
5 － 8	：陽性モデル修正と対立装具制作	2	教員デモと学生による実習
9 － 12	：適合チェックアウトと問題解決	4,5	教員デモと学生による実習
13 － 16	手関節装具実習：採寸・採型	1	教員デモと学生による実習
17 － 20	：陽性モデル修正と手関節装具制作	2	教員デモと学生による実習
21 － 24	：適合チェックアウトと問題解決	4,5	教員デモと学生による実習
25 － 27	既製品上肢装具および自助具適合実習：採寸	1	教員デモと学生による実習
28 － 30	：適合チェックアウトと問題解決	3,4,5	教員デモと学生による実習

【使用図書】	＜書名＞　＜著者名＞　＜発行所＞　＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし
参考書	装具学 II（上肢装具）に準ずる
その他の資料	単元ごとに必要な資料を配布する

【評価方法】

学習態度と各工程における技術習得レベルを製作品で評価し、総合的に判断する。

【履修上の留意点】

授業の１／３を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。
欠席は１回につき－５点、遅刻は１回につき－２点、遅刻２回で１回の欠席とし最終評価から減点する。